



# 平成武師道

## (人間活動学)

### 『大衆迎合』



ポピュリズムという言葉がある。  
大衆迎合という意味だ。  
今の日本は、それが強く感じられる。  
多くの人達の考えや意見が主流になり、少数派は疎外されていく。  
キチンとした道徳心や、他者への思いやりや配慮などがあればポピュリズムも悪くないとは思う。  
しかし、ポピュリズムの欠点は、皆が安易な方向を選んで、なるべく楽をしようとするところなのだ。  
人間は、ほとんどが苦しい事は嫌いなもの。  
基本的には面倒な事は避けたがるし、美味しい臭いがすれば、すぐに群がってくる。  
悪い事や気まずい事は人のせいにしてしまう。  
何だかポプユリズムっていうのは、一人一人が傷を舐め合っているご都合主義のように思えてくるのだ。  
世の中の大多数の人は、そのどこが悪いの？と言うかもしれない。  
その考えが、道徳心や公共のマナーなどを崩壊である。  
人間は本当に弱く、我がままな生き物である。  
私自身もそうである。  
だからこそ、時間ができた時に、もう一度振り返り考えるのだ。  
本当にこれでいいのか？  
人に迷惑を掛けていないか？  
どうすることもできない時もある。  
それでも一日24時間のうち、少しは自分だけ良ければオッケーではなく、  
もう少し周りの様々な事に損得勘定抜きで考え、行動してみようと思うのだ。  
誰でも自分が一番可愛いと思うだろう。  
だからこそ自分の周りに関係している事も、自分自身なのだ。  
ちょっとしたこういう意識が、ポピュリズムも良い方向に向かっている唯一の方法だと思う。  
甘えたい時もある。  
甘え過ぎてもいけない時もある。  
厳しくする時もある。  
厳し過ぎてもいけない時もある。  
このバランスをしっかりと取る事から始めていく事が大事である。